

# 平成30年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 27

千葉県立薬園台高等学校 全日制の課程 園芸科

## 1 期待する生徒像

次のア及びイの要件を具備する者

ア 人物が優秀で、高校において勉学及び学校の諸活動に意欲的に取り組む意志があること。

イ 次のa～cのうち一つ以上に該当すること。

a 将来農業又は農業関係産業への進路希望がある者

b 農業を取り巻く環境に興味がある者

c 学習成績が優れている者、又は特別活動等において優れた活動をした、実績を残した者

## 2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	【形式】受検者1名，評価者3名の個人面接 【検査時間】1人 5分程度
(4) 志願理由書	志願者が作成し，調査書を補完する資料とする。また，面接の参照資料とする。

## 3 評価項目及び評価基準

### (1) 学力検査【500点満点】

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	◎ 5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	◎ 10点未満のある場合は，審議の対象とする。

### (2) 調査書 アの数値に，イ及びエについて加点(上限10点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	◎ 算式1で求めた数値で評価する。 ◎ 評定1または未評価の教科がある場合は，審議の対象とする。
イ 出欠の記録	◎ 3か年皆勤である場合は，加点をする。 ◎ 各学年において欠席が30日以上ある場合は，審議の対象とする。
ウ 行動の記録	◎ ○が一つもない場合は，審議の対象とする。
エ 特別活動の記録，部活動の記録及び特記事項	◎ 生徒会活動，部活動，その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	◎ 特に優れた内容と認められる記載がある場合は，総合的に判定する際の参考とする。

### (3) 面接【60点満点】

3名の評価者が、次のア～エの4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価し、3名の評価者の評価の組合せ(a a a～c c c)ごとに得点化する。評価項目ごとに、評価cが2つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	◎ 志望の動機が明確である。
イ 高校生活への意欲	◎ 高校生活に対する目標・意識が明確である。 ◎ 高校生活(学習・部活動等)に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答	◎ 質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 ◎ 中学校時代に頑張ったこと等について明確に回答することができる。 ◎ 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
エ 身だしなみ・態度	◎ 基本的な面接作法が身に付いている。 ◎ 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。

### (4) 志願理由書

評価項目	評価基準
総合評価	期待する生徒像に照らし、特に優れた記載について面接の評価を補完する資料とする。

## 4 選抜方法

### (1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査(面接)の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

#### 【総得点の満点の内訳】

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定(算式1)	加点	面接	
500点	(135 + $\alpha$ - m)点	10点	60点	(705 + $\alpha$ - m)点

(算式1)  $\alpha$  : 県が定める評定合計の標準値95

m : 志願者の在籍する中学校の第3学年の評定の全学年の合計値の平均値

### (2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいししない。

## 5 その他

過年度卒業生については、第2日の検査終了後、別途個人面談を行う。